

# FACE



# 最速で迅速な治療を実現 各分野の専門医が協力し



## 腹膜表面悪性腫瘍の新たな治療拠点

腹膜播種は予後不良とされ、腹腔内腫瘍の最終段階と見なされてきました。しかし、腹膜偽粘液腫、悪性腹膜中皮腫、大腸癌や卵巣癌などの一部のケースでは、腹腔内に留まり、遠隔転移が少ないことが分かっています。近年では、減量手術(CRS)と術中腹腔内温熱化学療法(HIPEC)を組み合わせた治療が効果的であることが明らかになっており、局所制御が治癒や延命につながる場合もあります。腹膜外科は、Peritoneal surface malignancy(腹膜表面悪性腫瘍)に焦点を当てた腫瘍外科学のサブスペシャリティと言えます。欧米では、国際的に著名な腫瘍外科の学会にCRSに専念するワーキンググループが存在することから、腹膜転移へのCRSに関する文献が大幅に増加し、CRSを実施する医療機関が増えています。しかし、日本ではこの分野の発展が遅れているのが現状です。そこで、当院では2024年よりCRSを開始し、腹膜表面悪性腫瘍に対する治療に力を入れて取り組んでいます。



外科診療は非常に広範で、腫瘍外科、救急外科、一般外科といったさまざまな分野が含まれます。そのため、当院では各分野に特化した専門の外科医がそれぞれの役割を担っています。高齢化が進む中、併存症を抱えた患者さんも増えており、当院では各診療科の協力を得て、総合的な判断のもとで外科手術を実施しています。また、患者さんが不安を抱えたまま治療を受ける時間をできるだけ短縮できるよう、消化器内科と密に連携をとり、手術までの期間を平均1か月以内にするよう努めています。

### 高度進行がんに対する外科手術の適応

以前は、肝臓や腹膜など他の臓器に転移した進行がん(ステージ IV)や高度局所進行がんに対

しては、手術が難しいとされていました。しかし、近年では化学療法や放射線治療、外科技術の進歩により、「コンバージョンサージェリー」と呼ばれる手術で根治を目指せるケースも増えていきます。術前評価の改善や周術期管理の向上により、大規模な手術もより安全に行えるようになっています。

### 腹腔鏡下手術・ロボット支援下手術による低侵襲手術の追求

胃がん、大腸がん、肝がんなどに対しては、侵襲が少ない腹腔鏡下手術やロボット支援下手術を取り入れています。特にロボット支援下手術は、より正確な操作が可能となり、出血や合併症が少なく、患

者さんの早期回復に貢献します。痛みや傷跡が少なく、生活の質を保つ治療を目指しています。

### 救急疾患に対する緊急手術

急性胆嚢炎、急性虫垂炎、汎発性腹膜炎、腸閉塞症、腹腔内出血などの救急疾患に対して、救命と早期社会復帰を目指して積極的に緊急手術を行える体制を整えています。

### 良性疾患に対する外科的治療の提供

鼠径ヘルニア、胆嚢結石症、アカラシアといった良性疾患に対しても、腹腔鏡下手術を用いた低侵襲手術を行っています。また、痔核や直腸脱などの肛門疾患の治療にも根治手術を実施しています。

## 医療人材の育成と臨床研究

地域医療の発展に貢献するため、次世代の医療人材育成にも力を入れています。他の医療機関や大学病院と連携し、臨床研究や最新の医療情報の発信を通じて、最前線の医療を提供できるよう努めています。



## 最先端の治療で安心の医療を

私は外科および消化器外科の診療に携わり、中でも肝胆膵外科だけでなく腹膜転移に対する減量手術(CRS)を専門としています。

当院では年間約70~80件の肝臓・膵臓切除手術を行っており、日本肝胆膵外科学会の高度技能専門医修練施設および日本肝臓学会・日本胆道学会の指導施設として、胆管癌や膵癌、肝臓癌に対する根治を目指した切除術を提供しています。高度進行がんには、血管合併切除や再建手術を実施する一方で、ロボット支援下肝切除術を導入し、手術の低侵襲化にも取り組んでいます。また、腹膜転移に対する減量手術は当院の新たな取り組みであり、私は20年前からこの分野に関わってきました。この経験を活かし、当院を腹膜転移の治療における中心的な施設の1つに育てていきたいと考えています。

外科スタッフ一同、患者さんに安心して安全な治療を提供するため、日々努力を続けています。どうぞよろしくお願いいたします。

外科 科長

## 山中 健也



京都大学博士(医学)  
日本外科学会 専門医・指導医  
日本消化器外科学会 専門医・指導医  
日本肝臓学会 専門医・指導医  
日本胆道学会 指導医

### Information

### 「病気と治療の検索サイト」公開中!



当院の高度専門医療、がん診療、一般診療、チーム医療について豊富な経験と高い専門性を有する当院スタッフが病気と治療方法についてイラストや写真を用いてわかりやすく解説した記事を掲載しています。

当院HPのパナーからご利用ください。



### ご意見・ご感想募集

滋賀県立総合病院広報誌「FACE」へのご意見やご感想をぜひお寄せください。

お住まい、年齢、ご意見・ご感想を下記フォームよりお送りください。

滋賀県立総合病院の広報誌  
「FACE」に関するアンケートフォーム



心のふれあいを大切にして安全で質の高い医療福祉を創生し提供する。



滋賀県立総合病院  
Shiga General Hospital

〒524-8524 滋賀県守山市守山5丁目4番30号

TEL.077-582-5031(代) / 0570-00-5031(ナビダイヤル)

[診療受付時間] 午前8時30分~午前11時 ※2科受診の患者様を除く

[休診日] 土曜日・日曜日、祝祭日/年末年始(12/29~1/3)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/index.html>

滋賀県立総合病院

病院HP



# FACE

滋賀県立総合病院広報誌

発行：滋賀県立総合病院広報委員会(事務局総務課)  
発行日：2024年11月

バックナンバーも  
ご覧いただけます

